

くまもと

377号

日本郵趣協会
熊本支部会報
2023.5

沖縄の航空切手



ハト航空切手

坂本祥三

戦後直後、1948年1月29日「外邦地域分離覚書」によって、北緯30度以南の南西諸島の行政権が本土から分離され、軍政府が設立された。その後、各地区軍政府の民政府が作られた。1950年9月民政府に代わるものとして、群島政府が設立され、翌1951年4月に4つの群島政府の上に琉球臨時政府が設立された。更に、1952年琉球政府に改組された。

1952年2月11日北緯29度以北の島々が、1953年12月25日北緯27度の奄美諸島が返還され、1972年5月15日本土復帰沖縄県となる。

郵政史的には、1949年8月の郵便料金統一がひとつの区切りになり、それ以前は、各民政府ごとに異なっており、料金収納方法も各民政府ごとであったため、不便が多かった。そこで、徐々に統一が進められ1947年5月に開催された全琉球通信総会、1948年7月発行の第1次普通正刷切手などを経て1950年4月琉球郵政庁が設立される。B円軍票が、正刷切手発行のほぼ同時期に正式通貨になり、額面はB円表示になりました。



天女航空切手

377-1

沖縄の航空切手は、B 円軍票の時期 1950 年 2 月 15 日にハト航空切手 3 種が発行された。当時の沖縄の航空郵便は、国別ではなく距離制が採用されていた。

5,000 km 以内は 8 円、5,000 km 以上 10,000 km 未満は 12 円、10,000 km 以上は、16 円でした。(1 ページ)

航空郵便料金の改定、高額化で天女航空切手 5 種が 1951 年より 54 年にかけて発行された。(1 ページ)

1955 年 6 月 1 日に料金改訂されるも、新切手の発行はなく 1957 年 8 月 1 日に凹版天女航空切手が 5 種発行された。



1958 年 9 月 18 日に米ドルへの通貨切り替えが行われました。1959 年 10 月 15 日に料金改訂が行われ、通貨切り替えで不要となった天女航空切手の在庫分に加刷し、12 月 20 日に発行された。



1960 年 8 月 3 日米ドル改訂加刷は、航空切手が不足していたため、通貨切り替えで不要となった工芸品・舞踊 B 円切手に加刷した。

1961 年 9 月には、天女・風神航空切手が発行され、復帰までの 11 年間使用された。1963 年 8 月に発行された文化財航空切手は、ハガキの航空料金用です。

